



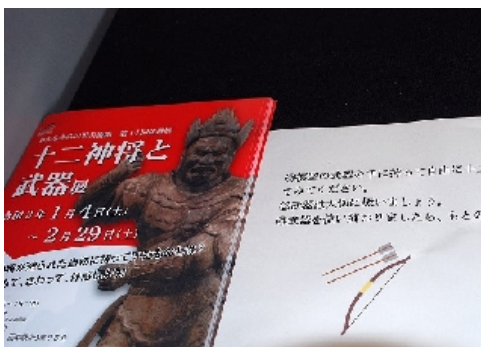
仏の里美術館1



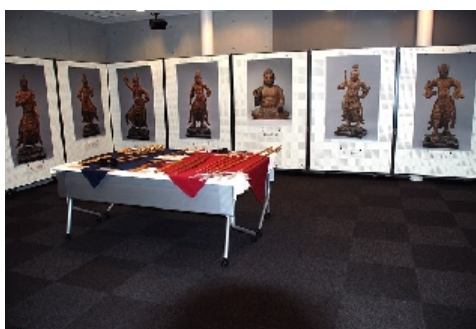
仏の里美術館2

函南町の「かんなみ仏の里美術館」に於いて第14回企画展ギャラリートーク「十二神将と武器展」が令和2年1月26日(日曜日)開催されましたので鑑賞と取材に行ってきました(写真上左右)。

十二神将とは、薬師如来を守護する12体の武神で東西南北の方向を12に分けて、それぞれの方向から薬師如来に害を与えるものが近づかないよう、眼を鋭く光らせ、武装した姿で護っています。造られた(鎌倉時代)当初はそれぞれの手に剣、弓矢、斧、金剛杵等のような武器を持っていましたが、現在ではほとんど残されていません。



展示会場入り口



展示会場内1

今回の企画展では、その持ち物に注目し像の姿勢や手の形から推測される十二神将が持つ武器の模型が展示され、来館者が原寸大の写真パネルに武器を重ね合わせる事が可能となっています。



展示会場内2



ガイド 加藤真明さん

展示会場に入ると、薬師如来を中心に十二神将の写真パネルが並んでいます。そして中央のテーブル上には武器(模型)が並べられています(写真上左)。

案内はふるさとボランティアガイドの加藤 真明さん(写真上右)にして頂きました。



[模型 武器1](#)



[模型 武器2](#)



[模型 武器3](#)



[模型 杵](#)

会場中央に設置されている武器類です。宝棒、宝剣、斧、金剛杵、弓矢、戟(げき)など9種類が並んでいます。全て木材で造られ、軽くて、大変美しく、安全な武器類でした(写真上4枚)。

これらの武器類を製作された方は…下記の方です。

- ・金剛杵の製作→[浅田 菊雄さん](#)
- ・武器の製作 →[加藤 眞明さん](#)



[武器と十二神将1](#)



[武器と十二神将2](#)

ボランティアガイド及び武器製作者の加藤 眞明さんに自作の武器を持って頂き十二神将の写真パネル前に並んで頂きました。…十二神将の姿がより躍動的で、いきいき見えてきました(写真上左右)。



[武器と十二神将3](#)



[武器と十二神将4](#)

かなみ仏の里美術館 顧問の齊藤 宏さん(写真上左)。そして同館 館長の矢田 長春さん(写真上右)にも金剛杵と武器を持って頂きました。…やはり十二神将は手元に武器類を持つ事によって薬師如来を守護する気迫と力強さを一層強く感じました。



同館 顧問の齊藤 宏さん(91)から「武器を持った姿から、像が造られた当時の様子を思い浮かべ、仏像を親しむきっかけになって頂ければ」と語り掛けておられました。



[ギャラリートーク1](#)



[ギャラリートーク2](#)



[ギャラリートーク3](#)



[ギャラリートーク4](#)

生涯学習課 佐藤さんによるギャラリートークの始まりです。  
薬師如来と十二神将の関係、また十二神将と十二支との関わり等を解りやすく説明して頂きました。  
そして…十二神将が造られた当初に持っていたと思われるものは？

模型をみて…触ってみて…パネルにあてて体感して下さい…との合図で会場内、大人も子供も…にぎやかに盛り上がっています(写真上4枚)。

<ご参考>

★かなみ仏の里美術館へのアクセス

- ・場所:田方郡函南町桑原89-1 TEL:055-948-9330
- ・お車で:東名沼津ICより駿河湾環状道路「大場 函南IC」經由  
で約25分
- ・電車で:東海道本線「函南駅」より車で約5分

★かなみ仏の里美術館 利用案内

- ・開館時間:10:00~16:30
- ・休館日:毎週火曜日
- ・観覧料:大人300円 小中学生100円

※但し企画展「十二神将と武器展」R2年1/4(土)~2/29(土)開催中の観覧料は無料。

- ・企画展中のギャラリートークは1/26(日)と2/16(日)の2日間  
・時間①11:00~  
②14:00~

取材:中伊豆地区 生きがい特派員 安藤 智章